

## 令和5年度 事業報告書

特定非営利活動法人 境を越えて

## 1 事業の成果

5年目を迎え各プロジェクト毎に進捗レベルに差はあるものの、全体としては発展的な取り組みとなった。例えば、カリキュラム化プロジェクトによって得られたネットワークが、生活力向上講座の周知に寄与した。このことは、当団体のプロジェクト全体が地域で暮らす当事者と支援者が求めていることと合致しているためだと考えられる。一方で、生活介入プロジェクトのような「個」を対象にしたプロジェクトは、新規介入までは難しく、フォローアップに留まっている。コーディネーター人材の不足が喫緊の課題であるが早急な解決は難しい。そこで、来年度からは「特別なスタンスとスキルを持つ介助者の実際把握とネットワーク構築」の新規取り組みとして、「悩める介助者のための交流会（随時・オンライン）」を開催し、介助者の継続支援に特化したサポートを行っていく。

## 2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 14,396,157】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
在宅の重度障害者に等しい者による啓発事業	① 地域生活の視点で学ぶ重度身体障がい者の暮らしの視点を活かしたプロジェクト	2023.8.8-12 2023.9.-10 2023.9.4-8 2023.11.3-5 2023.11.7 2024.2.21-22	開催大学と近隣の当事者宅	109名	医療・福祉・保健を指す学生/体験受け入れ当事者	372名	3,658,557
在宅の重度障害者に等しい者による啓発事業	② 境を越えてフォーラム	2023.6.17	オンライン/リアルハイブリット	30名	当事者・介助者その他 広く一般	名748	2,330,383
在宅の重度障害者に等しい者による啓発事業	③ 境を越えた瞬間冊子作製	2022.3.30	事務所	15名	広く一般	2000名	687,816
在宅の重度障害者の家族との相談事業	④ 生活力向上講座	2023.6-8にかけて17回	オンライン	14名	当事者・介助者・医療職・当事者	延べ7292名	1,523,694

在宅の重度の障害者の家族談話事業	⑤ 生活介入	東京1件、個別相談35件	オンライン・現地	15名	当事者・介助者	延べ70名	3,430,294
在宅の重度の障害者の講演による啓発事業	⑥ 特別なスタンスとスキルを持つ介助者の実態把握	2023.4-2024.3まで2回の検討会・調査(10件)実施	オンライン	20名	介助者	25名	92,245
在宅の重度の障害者の家族談話事業	⑦ 学生介助者交流会	2023-2024.3不定期開催2回	オンライン	5名	学生介助者	20名	0
在宅の重度の障害者の家族談話事業	⑧ マッチング&フォロー	2023.4～2024.3にかけて20件	電話・オンライン	5名	当事者と介助者	15名	0
在宅の重度の障害者の講演による啓発事業	⑨ 合理的配慮・インクルーシブ理解促進(難病患者と共生の実現のための活動支援)	2023.8～2023.11	動画作成/中学校	10名	中学生・幼稚園生・広く一般	320名	325,376
在宅の重度の障害者の講演による啓発事業	⑩ 小中学校・高校・大学・市民講座講義等	2023.4～2024.3	現地	10名	小中学・大学生・一般	44名	2,347,792

(2) その他の事業

(事業費の総費用【           】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)